

大同が大崎を一蹴、ソニー、北國とともにプレーオフへ

～第33回日本ハンドボールリーグ第16週～

第33回日本ハンドボールリーグ第16週は千葉などで男子4試合、女子3試合が行われ、男子は首位の大同特殊鋼が2位の大崎電気に33-26で快勝してプレーオフ進出を決定。女子もソニーセミコンダクタ九州と北國銀行がそれぞれ勝利を握り、プレーオフ進出3チーム（オムロン、ソニー、北國）が決まった。男子は残る3枚のプレーオフ切符をめぐり、トヨタ車体、大崎電気、湧永製薬が勝点23で2位に並び、トヨタ紡織九州が勝点2差で続く大混戦、このあとも目が離せない状況だ。

男子注目の首位決戦は組織力に勝る大同が大崎の挑戦をあっけなく退けた。大同・白、大崎・岩永の得点で始まったこの試合、大同が武田、末松の活躍で前半11分7-4と3点リード。大崎も14分過ぎから宮崎、中川を投入して挽回を図るが、大同は末松を中心に速攻が決まり、25分14-9とリードを広げた。大崎は宮崎のスカイプレーで見せ場を作ったものの、3点ビハインドでの折り返し。後半開始直後、大崎は内田の速攻で1点差まで詰め寄ったが、大同・GK高木のファインセーブや末松らの速攻を許して同点チャンスを逃がすと、その後は大同が大崎のミスを実実に得点に結びつけ、富田、武田を中心とする手堅いディフェンスにものをいわせ、24分30-21として試合の大勢を決めた。

ここまで湧永と3位で並ぶ車体は琉球コラソンと対戦。車体が体格を生かした6:0ディフェンス、琉球は機動力を身上とする3:3ディフェンスで応戦した。中盤は両チーム走り合いで互角の展開が続いたが、27分を過ぎたあたりから車体が地力とキャリアの差を見せつける格好で混戦を抜け出し、17-13と4点リードで前半を折り返した。後半に入っても車体は琉球の攻撃ミスを実実に得点に結びつけて主導権をキープ、琉球はGKの好セーブやサイド高田のシュートなどで必死に食らいついたが健闘も及ばなかった。

女子は前週でプレーオフ進出を決めたオムロンが最下位のHC名古屋と対戦、いきなり藤井の得点を皮切りに城内の連続得点などで6連取と好スタートを切った。たまたま名古屋はタイムアウトを取り、高橋（玲）が初得点をあげるがオムロンのペースを崩すことができず、オムロンが17-4として前半終了。後半に入り名古屋は速攻を繰り返したものの、オムロンの高いディフェンスの壁を攻めあぐね、終始優勢に試合を進めたオムロンが34-10と圧勝した。

ソニーは三重バイオレットアイリス相手に前半11-11と苦しんだものの、後半に入ると手堅いディフェンスで三重のセット攻撃を封じる一方、樋口を起点としたスピーディな展開から高柄、金城らが加点、亀山らの速攻をからめて13分18-12と抜け出した。三重も伏見のブラインドシュートやGK浅井の好セーブで応戦したが、安定した守りとリズムの良い速攻を中心としたソニーが5点差で勝利した。

次週は福井などで男子5試合、女子3試合が行われ、プレーオフ争いに火花を散らす車体と紡織が激突、大崎はHondaと対戦する。女子もソニー-オムロンの首位決戦など見逃せない好カードが控えている。
(2ページに続く)



④大崎を一蹴して首位独走の大同・武田
⑤プレーオフ進出を決めたソニー・金城

第17週の日程

2月14日(土)	福井:北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道「観音町」徒歩5分)	13:00~(男)	北陸電力×琉球コラソン
	愛知:枇杷島スポーツセンター(名鉄名古屋本線東枇杷島駅徒歩7分)	13:00~(男)	大同特殊鋼×豊田合成
	広島:東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	13:00~(女)	広島メイプルレッズ×HC名古屋
2月15日(日)	三重:名張市総合体育館(近鉄大阪線名張駅バス「夏見」徒歩5分)	15:00~(男)	湧永製薬×トヨタ自動車
		13:00~(女)	三重バイオレットアイリス×北國銀行
	宮崎:小林市市民体育館(JR吉都線小林駅徒歩5分)	15:00~(男)	H o n d a × 大崎電気
		13:00~(女)	ソニーセミコンダクタ九州×オムロン
		16:00~(男)	トヨタ紡織九州×トヨタ車体



プレーオフに望みをつないだトヨタ紡織・中島

土俵際で踏みとどまった紡織

残る男子2、女子1試合もプレーオフ進出できるかどうか、あるいはプレーオフへの進出順位に直結する大事な試合。

ここまで14戦10勝1分3敗でトヨタ車体と並んで3位タイにつけていた湧永製菓は京都でHondaと対戦。エンジンのかかりが遅いHondaに対し、湧永はスタートからテンポよく得点を重ね、前半9分、7-0と完全に試合の主導権をつかんだ。湧永はようやくエンジンがかかり出したHondaに追撃を許し、前半終了時のリードは2点(12-10)となったものの、後半の出足で再加速。11分、19-11と8点リードを奪った湧永が、その点差をキープする形で、無難に11勝目をマークした。福井では9勝1分4敗で車体、湧永を追うトヨタ紡織九州が北陸電力と対戦。試合は地元での戦いで燃える北電セブンが前田を軸に一丸となった攻守で先行。後半、いったん紡織に追いつかれたものの、11分から17分にかけての6連打で24-18と北電がこの試合最多の6点リードを奪った。勝点を落としてプレーオフ進出が絶望となる紡織がここから覚醒。ジワジワと差を詰め、残り3分、24-27と3点を追う場面から、中島の怒涛の4連打で一気に試合を引っ繰り返し、辛くも紡織がプレーオフ進出戦線に踏みとどまった。

この福井では、女子・北國銀行が広島メイプルレッズと対戦。北國は先手をとったものの、昇り調子の広島に粘られ、なかなか試合を決められない展開。重苦しいムードになりかけたが、守護神・田代の堅守で広島に勢いを与えず、後半20分からは武井の3連打などでようやく広島を突き放し、順当に8勝目をマークした。

◆ 2月7日(土) 女子 千葉・浦安市運動公園総合体育館	◆ 2月7日(土) 男子 千葉・浦安市運動公園総合体育館	◆ 2月7日(土) 女子 福井・福井県営体育館
ヌーセミコンダ クワ九州 27 (11-11) 22 三重ハイレッズ 9勝0分3敗 16-11 トライス 4勝0分8敗	大同特殊鋼 33 (14-11) 26 大崎電気 14勝0分1敗 19-15	北國銀行 30 (15-13) 26 広島メイプル 8勝1分3敗 15-13 レッズ 4勝0分8敗
<0/2> K 中島 浅井 K <1/4> 7/17 郭惠静 横川 1/5 2/6 長野 桂 4/7 0/0 工藤 石宮 黒 2/3 3/6 亀山 石下 3/5 3/6 高栖 谷口 0/0 <0/1> K 飛田 北村 0/0 2/3 3/7 樋口 伏見 2/4 3/3 0/0 佐師 橋本 3/8 0/0 飯田 毛利 K <1/2> K 南 毛野 2/4 2/3 0/0 東 伊藤 2/11 0/2 川口 森田 K 5/7 金城	2/2 7/15 末松 浦和 K 0/0 浦田 小澤 0/0 3/4 富田 前川 1/6 2/2 地引 中川 0/1 4/12 武田 永島 0/1 4/5 岸川 太田 0/0 0/0 大田 酒井 0/0 <0/1> K 高木 濱口 K <0/2> 4/8 李才佐 岩永 4/8 3/3 0/0 千々波 東俊介 0/0 2/3 山城 内井 8/11 <0/2> K 東 猪妻 3/4 5/10 白元 望月 0/2 0/0 渡久川 宮崎 7/11	<0/3> K 下地 堂面 K <0/2> 2/2 8/12 上町 土屋 1/2 0/2 宮前 樹山 0/0 3/4 小野澤 大前 4/5 6/7 横嶋 植垣 4/8 3/3 3/5 野路良 李 4/13 5/7 武井 菅野 2/4 K 田代 坪井 0/0 0/0 仲宗根 伊藤 2/4 2/4 野路里 坂口 0/0 0/0 井上 安齋 0/0 K 大澤 石山 1/1 1/2 八十島 横田 K 0/2 若松 新城 5/7
4/6 23/51 5(FPP)12 19/47 3/3 審判(北嶋・比留間) 観客 764人	2/2 31/59 6(FPP)11 23/44 3/3 審判(黒木秀・黒木龍) 観客 1418人	2/2 28/45 11(FPP)7 23/44 3/3 審判(大石・桜打) 観客 410人



Honda

チーム一丸で1つでも多くの勝利を きます。

各地で激戦を繰り広げてきた日本リーグも終盤に入り、いよいよ大詰めを迎えてきました。

Hondaは現在6位とプレーオフ進出には厳しい状況に置かれています。しかし、プレーオフ進出という目標を掲げ、1つでも多くの勝利を掴むべくベテランから若手までチーム一丸となり日々トレーニングに励んでいます。

特に、GK四方選手の指導のもと期待の新人GK兼浦選手成長が著しく、まだまだ荒削りで足りない部分も多いですが、チームの最後の砦として頑張っています。

残り3試合となりましたが、Honda伝統の6:0ディフェンスにさらに磨きをかけ、Honda熊本から強力な助っ人の大井選手を迎え、新たなDFシステムにチャレンジし、今シーズン強化している速攻へと繋いで勝利を目指してい

きます。今シーズン限りでHondaは日本リーグ撤退という、チームとしては非常に残念な結果になりましたが、これからも国民体育大会、実業団選手権、全日本総合に照準を合わせたトレーニングを続けていきますので、Hondaファンの皆様、引き続きHondaエルクに熱い応援のほど宜しくお願い致します。(Honda ELK 竹田 寛明)



◆ 2月7日(土) 男子
福井・福井県営体育館

トヨタ紡織九州 28 (11-13) 27 北陸電力
10勝1分4敗 (17-14) 5勝0分10敗

<1/2>	K 松野	高橋	5/ 8
	10/13 中嶋	神田	4/ 6
	0/ 0 西端	落合	4/ 9
	2/ 4 村上直	桜井	3/ 3 1/2
	0/ 0 松信	前田	6/ 6
	5/ 8 村上秀	高田	1/ 1
1/1	1/ 3 呉相民	杉山	3/ 3
	3/ 4 佐久間	大谷	0/ 0
	0/ 0 鶴田	表	0/ 0
	2/ 2 海道	山原	0/ 0
	2/ 3 阪	亀田	0/ 0
	K 谷川	丸山	<0/1>
	0/ 0 船木	石塚	0/ 0
	2/ 5 泉原	有江	K

1/1 27/42 11(FPP)7 26/36 1/2
審判(佐々木・高原) 観客 521人

◆ 2月7日(土) 女子
京都・京都市体育館

オムロン 34 (17- 4) 10 H C名古屋
10勝1分1敗 (17- 6) 0勝0分12敗

	K 勝田	近藤	K <1/4>
	8/ 8 城内	池田	0/ 1
	3/ 3 西本	佐藤	3/14
3/4	3/ 5 藤井	高橋瑛	2/ 7 1/1
	1/ 3 佐久川	菅谷	1/11
	3/ 4 坂元	上野	0/ 0
	1/ 4 洪廷昊	高橋玲	3/ 6
	K 藤間	家城	K <0/1>
	2/ 3 高田	藤島	0/ 2
	2/ 2 市村	徳永	K
<0/1>	K 山中	生川	0/ 0
	3/ 8 東濱	山本	0/ 6
1/1	1/ 5 永田		
	3/ 3 勝連		

4/5 30/48 7(FPP)10 9/47 1/1
審判(高野・長澤) 観客 820人

◆ 2月7日(土) 男子
京都・京都市体育館

湧永製薬 27 (12-10) 19 Honda
11勝1分3敗 (15- 9) 5勝0分10敗

	K 志水	中谷	0/ 0
	7/10 坂本	鶴見	1/ 2
	0/ 0 濱本	柳	1/ 2
	4/ 9 福田	河瀬	4/ 6
	0/ 0 吉田	竹田	4/11 1/1
	2/ 4 佐藤	横地	1/ 2
	0/ 1 名嘉	伊藤	1/ 3
4/5	2/ 6 東	青山	0/ 0
	K 坪根	瀬元	3/ 5
	3/ 6 新	野嶋	2/ 2
	2/ 3 武藤	高木	0/ 0
<0/1>	K 松村	兼浦	K <1/5>
	3/ 5 古家	大井	1/ 6
	0/ 0 山口	四方	K

4/5 23/44 6(FPP)6 18/39 1/1
審判(佐路・佐藤) 観客 1200人

◆ 2月7日(土) 男子
沖縄・沖縄県総合運動公園体育館

トヨタ車体 36 (17-13) 25 琉球
11勝1分3敗 (19-12) 2勝0分13敗

<0/1>	K 木下	宮城	0/ 1
	2/ 2 田中	久高	0/ 0
	0/ 2 佐々木	村山	3/11 2/2
	4/ 8 高智	棚原	0/ 0
	0/ 1 野村	岡田	4/ 8
	3/ 3 藤田	名嘉	0/ 0
	1/ 5 北出	池田	0/ 0
<0/1>	K 田平	志慶真	4/ 5
	2/ 4 長谷川	内田	K
	2/ 4 鶴谷	水野矢	0/ 0
1/1	8/11 香川	内山	1/ 5
	3/ 5 崎前	高田	9/22
	1/ 3 銘菊	石田	K <0/1>
	9/10 門山	水野紀	2/ 4

1/1 35/58 18(FPP)7 23/56 2/2
審判(浜田・小笠原) 観客 793人

選手・スタッフ登録情報

- ◇湧永製薬
 - 3 木村 雅俊 1986.09.05 189cm 99kg
 - 右 三郷中→桃山学院高→筑波大
- ◇トヨタ車体
 - 3 石戸 貴章 1987.03.06 185cm 85kg
 - 右 上庄小→氷見北部中→氷見高→法政大
 - 9 高木 翔 1986.10.30 190cm 91kg
 - 右 札幌丘珠高→中部大
- ◇大同特殊鋼
 - 1 田中 雄大 1986.10.21 188cm 80kg
 - 右 瓊浦高→筑波大
 - 3 野村 喜亮 1987.01.22 186cm 80kg
 - 左 下松工高→早稲田大
 - 17 熊谷 孟 1986.12.05 188kg 83kg
 - 右 伊奈高→明治大
- ◇広島メイプルレッズ
 - 15 栗本 愛佳 1987.01.14 166cm 56kg
 - 左 安堵の里H C→安堵中→宜真高→大阪体育大
 - 18 村山絵理奈 1986.11.23 158cm 55kg
 - 右 屋代中→浦和実高→早稲田大
 - 19 河田 早紀 1986.10.23 167cm 56kg
 - 右 玉出中→桜宮高→大阪体育大
 - ※いずれも2月14日から出場可能



ソニーセミコンダクタ九州

がんばれ! BLUE SAKUYA!!

鹿児島県のトップスポーツ取材している南日本放送の岡田祐介アナウンサーから熱いメッセージをもらいました!

『超満員の霧島市国分体育館で久々に大興奮でした!』

1月31日の北國銀行戦。ソニーのBLUEが躍動しました。

BLUE SAKUYAの好きなところは、なんととんでもないそのスピード。郭選手、工藤選手、東選手のスピード感溢れるダイナミックなシュートに釘付けでした。

そしてハンドボール経験者でない私にとって、あの狭い中から放たれる高橋選手のポストシュートもいつも目を奪われます。

個人的には金城選手が活躍するところをもっと見たい!そして中島キャプテンの明るいキャラクターを、いつかテレビでも紹介したいと思っています。

1月31日の会場には女子サッカーなでしこリーグに正式加盟が決まったジュブリーレ鹿児島も登場。ソニーの大応

援団からのジュブリーレレコルを受けたイレブンも、ハンドボールのスピードと迫力に圧倒されたようでした。

鹿児島にはもう一つ、バスケットボールJBL2のレノヴァ鹿児島があります。まだまだトップリーグのスポーツ文化が根付いたとは言えない鹿児島ですが、この3チームで鹿児島を盛り上げようと必死で頑張っています。

BLUE SAKUYAの活躍、ジュブリーレやレノヴァの姿を県民にたくさん伝えて、もっとお客さんに足を運んでもらえるように、もっともっと楽しい鹿児島になるように、私も頑張っていきたいと思います。

がんばれ! BLUE SAKUYA!! 今年こそ初優勝だ!!!



緒方監督にインタビューする岡田アナ

男女個人賞レース 第16週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	113点	(15試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	113点	(12試合)
2 宮崎 大輔 (大崎電気)	110点	(15試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	95点	(12試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	110点	(15試合)	3 樋口 真央 (ソニー)	69点	(12試合)
4 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	96点	(15試合)	4 東濱 裕子 (オムロン)	58点	(12試合)
4 竹田 寛明 (Honda)	96点	(15試合)	5 李 キョンミン (メイプルレッズ)	57点	(12試合)
6 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	86点	(15試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行)	56点	(12試合)
7 柳本 義文 (Honda)	85点	(15試合)	6 藤井 紫緒 (オムロン)	56点	(11試合)
8 門山 哲也 (トヨタ車体)	84点	(15試合)	8 佐久川 ひとみ (オムロン)	55点	(12試合)
9 新 建二 (湧永製薬)	80点	(15試合)	8 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	55点	(12試合)
10 高田 匠 (琉球コラソン)	77点	(14試合)	10 洪 廷 昊 (オムロン)	53点	(12試合)
11 東長濱 秀作 (湧永製薬)	76点	(13試合)	11 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	49点	(12試合)
12 内田 雄士 (大崎電気)	75点	(15試合)	12 城内 真紀 (オムロン)	48点	(12試合)
13 白 元 喆 (大同特殊鋼)	72点	(14試合)	12 高栖 由香 (ソニー)	48点	(12試合)
14 光増 由矢 (トヨタ自動車)	71点	(15試合)	14 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	45点	(12試合)
15 神田 友和 (北陸電力)	70点	(15試合)	15 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	44点	(12試合)

フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	110点	(15試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	91点	(12試合)
2 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	96点	(15試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	71点	(12試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	94点	(15試合)	3 東濱 裕子 (オムロン)	58点	(12試合)
4 竹田 寛明 (Honda)	87点	(15試合)	4 横嶋 かおる (北國銀行)	56点	(12試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	86点	(15試合)	5 佐久川 ひとみ (オムロン)	53点	(12試合)
6 門山 哲也 (トヨタ車体)	84点	(15試合)	6 洪 廷 昊 (オムロン)	52点	(12試合)
7 新 建二 (湧永製薬)	80点	(15試合)	7 李 キョンミン (メイプルレッズ)	50点	(12試合)
8 村山 裕次 (琉球コラソン)	78点	(15試合)	8 城内 真紀 (オムロン)	48点	(12試合)
9 高田 匠 (琉球コラソン)	77点	(14試合)	8 高栖 由香 (ソニー)	48点	(12試合)
10 内田 雄士 (大崎電気)	70点	(15試合)	10 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	46点	(12試合)
10 神田 友和 (北陸電力)	70点	(15試合)			
10 光増 由矢 (トヨタ自動車)	70点	(15試合)			

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 内田 雄士 (大崎電気)	70点/103射 0.680	1 横嶋 かおる (北國銀行)	56点/ 73射 0.767
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	86点/136射 0.632	2 城内 真紀 (オムロン)	48点/ 68射 0.706
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	94点/151射 0.623	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	53点/ 79射 0.671
4 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	96点/156射 0.615	4 高栖 由香 (ソニー)	48点/ 76射 0.632
5 新 建二 (湧永製薬)	80点/133射 0.602	5 上町 史織 (北國銀行)	71点/ 121射 0.587

7mスロー得点賞

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	32点	(15試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	42点	(12試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	24点	(15試合)	2 樋口 真央 (ソニー)	33点	(12試合)
3 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	21点	(13試合)	3 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	28点	(12試合)
3 桜井 渉 (北陸電力)	21点	(15試合)	4 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	21点	(12試合)
5 柳本 義文 (Honda)	20点	(15試合)	5 吉田 祥子 (オムロン)	19点	(7試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 東 佑 三 (大崎電気)	10本/ 22射 0.455	1 田代 ひろみ (北國銀行)	10本/ 20射 0.500
2 高木 尚 (大同特殊鋼)	9本/ 23射 0.391	2 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	6本/ 20射 0.300
3 藤堂 聖二 (豊田合成)	10本/ 27射 0.370	3 近藤 澄江 (HC名古屋)	10本/ 38射 0.263
4 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	16本/ 46射 0.348	4 藤間 かおり (オムロン)	8本/ 31射 0.258
5 濱口 靖 (大崎電気)	5本/ 15射 0.333	5 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	10本/ 45射 0.222

第 33 回 日本ハンドボールリーグ成績表

第16週終了 2月7日

順位	男子	大同特殊鋼		トヨタ車体		大崎電気		湧永製薬		トヨタ紡織九州		Honda		北陸電力		豊田合成		琉球コラソン		トヨタ自動車		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●								
1	大同特殊鋼	32	34	30	33	27		38	27	27	38	41	29	40		37		39	41	15	14	0	1	28	513	334	179		
2	トヨタ車体	20	30	32	34	30		28	38	25		36	33	30		43	36	32	36	15	11	1	3	23	498	383	115		
3	大崎電気	21	26	30		27	31	33	36	35		33	36	33		49	38	43	45	15	11	1	3	23	516	397	119		
4	湧永製薬	23		29	25	27	22	28		28	27	32	33	39	36	35	34	27		15	11	1	3	23	445	362	83		
5	トヨタ紡織九州	18	33	25		28	31	26		28	30	38	28	38	44	35	38	37		15	10	1	4	21	477	415	62		
6	H o n d a	23	23	27	29	33		21	19	25	25	29		27	28	36	39	29		15	5	0	10	10	413	435	-22		
7	北 陸 電 力	25	15	19		21	22	18	16	32	27	27		29	24	34		23	30	15	5	0	10	10	362	455	-93		
8	豊 田 合 成	20		28	19	21		20	26	19	33	28	18	27	23	34		31	26	15	3	0	12	6	373	495	-122		
9	琉球コラソン	19		21	25	22	26	25	23	19	26	26	31	32		35		32	42	15	2	0	13	4	404	541	-137		
10	トヨタ自動車	23	15	21	19	23	26	17		22		23		22	22	19	24	35	29	15	1	0	14	2	340	524	-184		

順位	女子	オムロン		ソニーセミコンダクタ九州		北國銀行		広島メイプルレッズ		三重バイオレットアイリス		HC名古屋		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●								
1	オムロン	30	29	22	25	31	34	30	33	29	36	36	34	12	10	1	1	21	369	246	123
2	ソニーセミコンダクタ九州	27	31	23	22	27	21	25	26	33	27	34	36	12	9	0	3	18	352	282	70
3	北 國 銀 行	22	23	23	22	27	29	28	29	28	30	28	30	12	8	1	3	17	333	249	84
4	広島メイプルレッズ	22	21	24	21	31	21	14	22	16	37	26		12	4	0	8	8	281	321	-40
5	三重バイオレットアイリス	18	22	21	22	22	18	21	16	19	26	26	26	12	4	0	8	8	257	307	-50
6	H C 名 古 屋	12	14	10	17	17	14	13	22	19	19	21	23	12	0	0	12	0	201	388	-187

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。